

まち・ひと・しごと創生総合戦略 推進事業KPI評価結果

基本目標 1 東日本大震災からの復興まちづくりを完結させる

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R1実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価			
1	新市街地整備事業完成度	100%						
2	防災集団移転促進事業完成度	100%				①防災集団移転の区画の中で土地を借りているにも関わらず、現在もまだ家も建たず空いた状態になっているところがある。仮に引っ越して来たい方がいても借りられている土地であれば、当然移ってくることはできない。このような状況について、市としてどのように考えているのか。今後どのような対応をしていくのか。	①防災集団移転用地については、購入される方と借りる方がおり、いつまでに家を建てるという約束をして貸与等をしておりますが、様々な状況の変化によりその約束が守れない方もおります。事情を聴きながらある程度期限を区切った上で、今後土地の活用をしていただくように促す働きかけをしており、十分にやり取りをしながら進めております。最終的にその土地を手放すと考えている場合は、それ以外の方が活用できるように市としても検討していきたいと考えております。様々な条件があると思うので十分に関係機関と調整しながら対応してまいりたいと考えております。	
3	土地区画整理事業完成度 既成市街地 住居系	100%	95.2%	○	○	B	①工事の完成率ではなく、居住率を評価するようにした方が良いのではないかと。 ②区画整理が終了後の利用状況が心配な場所もあるようだが、どうなっているのか。 ○住居については、少し見直す必要がある。	①被災市街地復興土地区画整理事業は、各事業地区において被災前の狭隘な道路や行止まり道路、狭小な公園等を改善するため、公共施設の再配置と整備拡充を行うとともに、宅地の整形化を図り、安心安全なまちを再生するためのハード事業であり、現場の完成度をもって各事業の進捗指標としております。御指摘の居住率は、工事終了後の未利用地（空地）に着目している点で理解できますが、区画整理を実施していない被災地域との兼ね合いもありますので、今後の検討課題にしたいと考えております。 ②住居系の区画整理事業6地区のうち、湊・門脇地区等は再建（土地利用）が進んでいない傾向が見られます。区画整理事業は土地所有者へ換地して完了となりますが、今後の再建を促進するためにはこれまでの支援に加え、市として可能な支援の検討が必要であると考えております。
4	復興公営住宅完成度	100%						
5	市街地再開発事業完成度	100%						

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R1実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価			
6	観光交流施設の 来場者数	1,264,684人/年	1,338,733人	◎	◎	A	<p>①元気いちばの来場者数はレジ通過者の実数なのか、それとも指数化して係数をかけたものなのか。</p> <p>②元気いちば周辺がイベント等により賑わうことによって道路の渋滞が生じる時間帯がある。その辺りには迂回路等もないという問題が生じている。</p> <p>③萬画館、元気いちばから、中央、立町への動線も考える必要があると思う。</p> <p>④中央、立町を魅力ある通りにする必要があるのではないか。</p> <p>⑤観光客ではなく、地元の人が足を運ぶようなお店がほしい。</p> <p>⑥新型コロナウイルス感染症により、今後の観光の在り方が大きく変わってくると思う。関連施設で話し合い、エリアとしての安全安心を考えていくべきではないか。</p>	<p>①元気いちばについて、当初はレジでのカウントでしたが、現在は入り口を人が通ると反応するカウンターを設置しております。同様のカウンターをかわまち交流センターにも設置しており、両施設のカウントは機械が計測しております。なお、元気いちばの来場者数については、2、3人が並んで入った場合に1とカウントしてしまうため、実測値と機械のカウントの間に1.6程度の誤差が生じていることを鑑み、機械でカウントした数字に係数を乗じた数字を来場者数として計上しております。</p> <p>②現在、新内海橋、新西内海橋の建設、国土交通省の築堤工事、かわまち交流広場の整備といった各種整備事業が関連し合いながら進められております。そのため、迂回路の設置等が行われるなど平時の交通の流れとは異なる状況であるため、復興事業の終了に伴いある程度解消されるものと考えております。</p> <p>③第3期石巻市中心市街地活性化計画において、地域の資源を活かした歩きたくなるまちづくりを目標に掲げ、その実現に向けた事業に取り組んでおります。その中でも特に石巻駅前、石ノ森萬画館、市役所等の中核施設を結ぶ「石巻マンガロード」の整備をはじめ、ウェブサイトの運用による情報発信等を通して、川沿いエリアの賑わいを街なか全体へ波及させていけるよう、注力してまいります。</p> <p>④第3期石巻市中心市街地活性化基本計画において、中央・立町エリアは生活、文化、交流、商業施設の充実を図るエリアとして位置付けていることから、これに基づいた魅力ある事業展開を進めてまいります。</p> <p>⑤本市の地域資源である食や萬画（マンガ）を活かし、郊外型の商業施設との差別化を図りながら、街なかならではの魅力を発信して集客率の向上を目指してまいります。</p> <p>⑥新型コロナウイルスの収束状況を鑑みながら、来街者の安全を第一に市内観光業を盛り上げていけるよう、関係機関と検討を重ねてまいります。</p>
7	中心市街地における社会増減数 (R元年度～R2年度)	-32人	50人	◎	○	A	<p>①商業施設7区画の供給は理解できるが、現状から回復段階であり、活性化につながる創意工夫、魅力づくりが見えない気がする。</p> <p>②ハードが整備されても入居者を集めることが難しい時期に来ているように思う。現在工事を進めている優建等の居住などについて不安を覚える。</p>	<p>①中心市街地の賑わい創出のための取り組みである街なかイベントの開催や助成金の創設などを通じて、民間事業者と連携しながら、賑わいや回遊性の創出に努めてまいります。</p> <p>②中心市街地では、震災後、災害ボランティアや移住者による市民活動団体が設立され、市民活動や市民交流の集積エリアとしての位置付けが強まりつつあることから、市民の社会的活動を通して得られる生きがいや、活動を通して生まれる市民同士のつながりによって、石巻に暮らすことの充足感を感じられるまちづくりを進めてまいります。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R1実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価			
8	施設（萬画館及び観光交流施設）利用者数	1,464,336人/年	1,553,571人	◎	◎	A	<p>①萬画館もかわまち交流センターも新型コロナウイルスの影響により、今年度は既に数か月休業しており目標値の達成は難しいと思うが、それに対する対応策は何か検討されているのか。</p> <p>②昨年、第3期中心市街地活性化基本計画について、当会議へ意見を諮ったがその結果はどのように反映されているのか。</p> <p>③「核」の位置付けとしては十分評価できるため、今後は近隣商店街と連携を強め、「派生」の部分にも力を注いでいただきたい。</p> <p>④元気いちばに平日を含めて1日平均3,300人もの来場者があるとの記載内容だが、あまりにもかけ離れた数字ではないかと思う。AIが発達した現在において識別可能ではないのかと思うので、AIを活用し実際の来場者の数字を出していただきたい。</p>	<p>①新型コロナウイルスの影響により、目標値に届かないのではないかと考えられますが、国によるガイドラインや新たな生活様式を踏まえた新たな取組を各施設で行う必要があると考えております。新たな取組を進めるにあたっては、中心市街地活性化基本計画の中に位置づけているソフト事業等も活用しながら、事業者の意見を聞いたり相談したりしながら進めていきたいと考えております。</p> <p>②第3期中心市街地活性化基本計画への反映については、第2期からの内容変更を検討する際に参考にさせていただいており、大きく3つの変更点があります。1点目としては、復興事業がおおむね完了したことからハード事業ではなく、ソフト事業を充実させました。2点目としては、おおまかなハード整備が完了した中で住居に限りがあること、市全体の人口減が進み大幅な人口増が見込まれないことから、これまで以上に交流人口に着目し活性化を目指す内容としております。3点目としては、震災以降に生まれた市民活動団体による活動を新たな地域資源として捉え、文化活動や市民活動の拠点として機能強化を図っていくことにしております。なお、中心というと蛇田地区に目を向ける方もいることから、市民の視線をこちらに向けられるようソフト事業の充実を図っていくこととしました。</p> <p>③観光交流施設等を起点とした中心市街地全体の回遊率の上昇に向けて、石巻マンガロード等を活用しながら、引き続き効果的な手法を用いてまいります。</p> <p>④入込数については事業者からの報告により算出しており、元気いちばの入れ込みに関しては、以前はレジを通過した人数をカウントしていましたが、現在は入口センサーで入館者数をカウントしております。AI機能搭載のセンサーについては、費用も掛かり、事業者の意向もあるため、今後のAIの普及状況等を注視してまいります。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R1実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価			
9	中心市街地歩行者等通行者数	18,443人	15,779人	○	○	B	<p>①歩行者等の通行量調査について、調査時期はどのように設定しているのか。</p> <p>②No. 7の評価シートから居住人口が増えたと思うが、居住人口と通行者数の関係についてどのように感じているか。居住人口が増え通行者も増えたと感じているのか、それとも居住人口が増えたけれどもやはり車移動の人が多く通行者数にあまり変わりはないと感じているのか。</p> <p>③ここで増やそうとしている通行者数は地元の人をターゲットとしているのか、それとも観光客なのか。 地元の人による通行者数を増やそうとするならば、漫画のモニュメントを新たに設置したからといって通行者が増えることはないと思う。また、既に訪問したことのある観光客についても、モニュメントが2基増えたからといってそれだけで再来するとは思えない。どうやって通行者数を増やすかと考えるにあたって、ターゲットを明確にした方が取組やその工夫がわかりやすくなり良いのではと感じた。</p> <p>④中心市街地で自転車やベビーカーでの移動がしやすいよう整備してほしいという声がある。</p> <p>⑤行きたくなるような街づくりについて、根本的見直しが必要だと感じている。</p> <p>⑥中心市街地だけに着目することなく、石巻の良さは、金華山街道も含め歴史的な視点から周辺地区とつなぐことも大切にしてほしい。</p>	<p>①毎年10月の平日と休日の2日間の調査としております。できる限りイベントと重ならないように配慮して日にちを設定していますが、平成30年度はポケモンGOのゲリラ的なイベントと重なってしまったため、通年より多い通行者数になりました。</p> <p>②居住人口については減少傾向にあります。令和元年度は微増しましたが、出生数よりも亡くなる方の人数が多く自然減が続いております。また、これまで立町等の中心市街地に住民票を残していた方が最近になって蛇田等の住宅再建先に住民票を移したといった事情による人口移動も起きております。しかし、賑わいという面で考えると元気いちばやかま交流センターができ、堤防一体空間が整備され、そこでイベントが多く開催されるようになったことにより人の流れは集まってきております。中心市街地の活性化という点では、萬画館や元気いちばに行くのみで人の流れが止まってしまっているのどのようにして駅前まで周遊してもらえるようにするかが課題と考えております。</p> <p>③中心市街地の定住人口として、転入や転居により社会増となるよう取組を進めていきたいと考えております。また、人の流れという点では地元の人が買い物するというのももちろんですが、観光客の方によるものも大きいことから、交流人口ということで観光客の方も含めた賑わいの創出を考えております。</p> <p>④街路等に係る課題として、関係各課等と検討してまいります。</p> <p>⑤市民意識調査等での地域住民のニーズの把握・分析に努め、より良い中心市街地になるよう取り組んでまいります。</p> <p>⑥中心市街地で創出された賑わいを、金華山や周辺地区にも波及できるよう取り組んでまいります。</p>
10	半島部における拠点エリア整備事業完成率	100%	81%	○	○	B	<p>①未着工地の把握はどうなっているのかと合わせて、未着工地の売却条件及び借地料の扱いはどのようになっているのか教えていただきたい。</p> <p>②半島部の魅力を引き出すために、陸上交通だけでなく、田代島、網地島、金華山をつなぐ海上交通からも、観光・漁業振興に着目すべきと考えている。 さらに、石巻市在住の小中学生は「石巻学（仮称）」として半島部のことを学ぶことが将来的に魅力ある郷土づくりになると考えている。教育委員会とも連携し、ソフト面の創意工夫が見えると良いと思う。</p>	<p>①災害危険区域内において、被災した公共施設等の跡地及び防災集団移転促進事業等で取得した土地は台帳で管理し、事業の利用目的に応じて各所属へ所管替え等を行っております。そのうち市で使用する予定のない土地及び低平地整備事業等により整備が完了した土地については、利用できる環境が整い次第公募等により売払い及び貸付けを行っております。申込者の資格は、売払い又は貸付けを希望する地区に東日本大震災時に住所をおいていた個人又は法人等です。売払い金額は、市が土地を取得した時と同額になります。貸付料の年額は、「各年度の当該土地の1㎡当たり固定資産税仮評価額×利用面積×1.4%（令和27年3月31日まで）」の計算式で算定いたします。 なお、同じ土地に売払い、貸付けの申し込みがあった場合には売払い希望者を優先いたします。また、同じ利用区分で複数の申し込みがあった場合は、公開抽選により当選者を決定いたします。 ※募集要領及び募集地区を、市のホームページに掲載しております。 ※上記内容は基本的なものです。申し込みされる方の諸条件により手続き方法等が変わる場合もありますので、詳細につきましては、半島拠点整備推進課にお問い合わせをお願いいたします。</p> <p>②離島航路事業者や関連団体等と連携を図り、地域文化・資源を活用した体験メニュー等のコンテンツを充実させ、今後も教育委員会ほか関係機関と連携して取り組んでまいります。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R1実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価			
11	市民バス等によるネットワーク充足率	100%	100%	○	○	B	<p>①バスの運行経路等の工夫をされ利便性が上がり良いと思う。障がい者や高齢者等の交通弱者のニーズへの対応はどのようにされているのか。利用者にアンケート等を取るとより具体的になるのではないかと。</p> <p>②担当課評価をBにしているのはまだ何らかの取組の余地があるからこそ、このような評価にしているのだと思う。ぜひ総合支所の生の声も取り入れながら、全庁的なより工夫を凝らした弱者救済策を期待する。</p> <p>③離半島部には交通弱者とされる高齢者が多く、牡鹿地区の社会福祉協議会の地域福祉推進委員会でもいかに交通弱者を救うかという話があがった。交通事業者との関係や交通事故等の様々な問題もあることから、明確な解決方法は出せていない状況にある。今後大事なところだと思っておりますので検討をお願いしたい。</p> <p>④移動について不便を感じている子育て世代の声が聞こえている。具体的には子どもの習い事、通学などの際に不便といった声があるので、市民アンケートを活かした取組をお願いしたい。</p> <p>⑤オープンデータの活用やアプリ等の作成・活用にて、本事業の充実を期待したい。他の課との連携によりサービスの向上を図ってほしい。</p> <p>⑥バスの乗り降りが高齢者には少し大変である。各地区が組んでカーシェアリングなどを考えてもいいのではないかと。</p> <p>⑦交通弱者の対策を実施してほしい。現在の蛇田地区の路線バスは経由地が多く、石巻駅前に出るまでに時間がかかりすぎる。また、あゆみ野駅は停車する電車が少なすぎる。これらの点について改善をお願いしたい。蛇田西部地区にもあゆみ野駅を中心とした住民バスを運行してもよいのではないかと。</p> <p>⑧改善した上で、「利用者が増えた」または「使いやすくなった」という声は聞かれたのか。また、どのようにして効果を検証しているのか。</p>	<p>①交通弱者に配慮した対応について、路線バスは宮城交通にお願いして対応していただいております。住民バスは、タクシー、ジャンボタクシー、マイクロバス等を活用し経費を削減しながら運行を図っているため、バスを一気にバリアフリー化する等の対応を取ることは難しいと考えております。しかし、運行ダイヤや料金を安くすることは検討しており、実際に障がい者割引を導入し半額や無料にする等の対応を行っております。今年度に総合交通戦略の後期計画を策定することとしており、今回指摘いただいた点を考慮した内容としていきたいと考えております。また、利用者アンケートを実施する予定であります。バス事業者にもヒアリングを行うことも予定しております。</p> <p>②担当課評価については、このバス施策に関して満足するということではなく常に検討していかなければならない内容であるという考えからB評価にしております。各総合支所の地域振興課にも当該事業の担当者がおり、計画策定にも各総合支所も入り一緒に策定していくこととしております。引き続き交通弱者への対策を検討していきたいと考えております。</p> <p>③牡鹿地区にはバス事業者がいないということで、市の直営によるバス事業を実施しており、他の地区とは違う形で運行しております。交通弱者に対する対策として何か明確な答えを今すぐには出せませんが、今後検討させていただきたいと考えております。</p> <p>④今年度に市民アンケートを実施する予定としていることから、そういった要望等を参考にしながらアンケート項目を検討してまいります。</p> <p>⑤アプリ製作に必要なオープンデータ整備に向けて、引き続き事業者からデータ提供を働きかけ事業の充実を図ってまいります。</p> <p>⑥カーシェアリングは、現在市内10のコミュニティで運行しております。地域の皆さんが主体となり運営していただいておりますので、例えば交通結節点までカーシェアリングを使い、公共交通機関に乗り換えることで利便性向上に繋がると思っておりますので、交通戦略上も必要な制度だと考えております。</p> <p>⑦路線バスの経由地につきましては、今後、利用状況を確認しながら検討してまいります。また、仙石東北ラインのあゆみ野駅に停車する電車の増便については、仙石線整備促進期成同盟会を通じて、JR東日本に対して継続的に要望を実施しております。あゆみ野駅には、JRのほか路線バス4路線（運転免許センター線、中里線、河北線、蛇田線）が乗り入れており、交通不便地区には当たらないことから住民バスの導入は考えておりません。</p> <p>⑧それぞれの運行協議会により利用者の増減はありますが、運行協議会で住民の声を取り入れながら時間帯、便数等検討していただいております。効果の検証については、利用者アンケート等を実施し、検証しております。</p>
12	津波防災拠点整備事業完成率	100%	100%	◎	○	A	<p>①ささえあいセンターは2次避難所ということで、子どもセンターから直接避難できないことを知り、緊急時の安全確保に繋がらなかったことが非常に残念である。緊急時の体制など詳細を教えてください。</p>	<p>①子どもセンター「らいつ」では、石巻市民津波避難計画を基に緊急時の対応マニュアルを作成しており、来場者は職員の誘導により指定避難場所である羽黒山に一時避難し、指定避難所が開設された場合には、最寄の避難所に避難していただくことを想定しております。ささえあいセンターは、一般避難所では避難生活が困難な高齢者、障害者、乳幼児、妊産婦など配慮を要する方が円滑な利用を確保するための福祉避難所となっておりますので、緊急時に直接避難はできませんが、子どもセンターの避難状況により、配慮を要する方の把握を行い、安全確保に努めてまいります。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R1実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価			
13	海岸保全施設整備事業完成率	51%	34%	○	○	B	①防潮堤の整備について、生活する上で進路等の安全確保上、レベル1津波に対して防潮堤の整備は必要である。防潮堤の必要性の是非について、各地域で論議があったようですが、整備しない所はあるのか。農水省、国交省等管轄で事業主体が宮城県のものも含めて教えていただきたい。	①震災時、既存施設が存在していた箇所については、災害復旧事業及び整備事業（復興）にてL1防潮堤を整備しております。地域等の話し合いにより、L1防潮堤ではなく、原形復旧（沈下分の嵩上げ）をしている漁港海岸もあります。【市漁港海岸3箇所、県漁港海岸（石巻市分）2箇所】ほか震災時に既存施設が無い箇所については、復興期間後、必要可否を検討し、地域住民と議論を進めていく予定としており、必要に応じて整備を行うこととしております。【市漁港海岸：19箇所、県漁港海岸：2箇所】なお、国交省管轄分については対象範囲が広く正確に把握することが困難であることから、農水省（水産庁分）のみの回答といたします。
14	防災緑地整備事業完成率	100%	75.1%	○	○	B	①一括発注について厳格な選定を行い、期日厳守及び技術等において納得感のある企業を選んでいただきたい。	①工事は既に発注済みであり、引き続き施工業者と調整を図りながら工期内での完成に向けて取り組んでいきたいと思っております。
15	津波避難タワー整備、津波避難ビル指定件数	45件	40件	○	○	B	①津波避難ビルの表示をもっと大きくしてほしい。 ②北上地域においての避難ビルに関しては、災害時、実際にそこにどれだけの近隣住民が避難できるのか、疑問の声も多い。自力でそこまで行けるのかといった問題もある。避難訓練のあり方そのものを各地域で再度見直し、訓練への参加率を向上する工夫が必要だと感じる。 ③沿岸部に避難タワーの増設をしていただきたい。また、豪雨災害が頻発していることから、ハザードマップで示されている1.5メートル以上水没するとみられる地区にも避難場所を設置・確保していただきたい。 ④サイン計画の提示もなく、新たな津波避難ビルが指定されたとしても、地域住民にはその情報が届いていない。どのような使い方になっているかもわからないので、実際に災害が起こったときに避難できる人がどのくらいいるのか疑問である。避難はソフト面も含めて進めるべきだと思う。堤防に集う人はどこの避難ビルを目指すべきなのか。	①津波避難ビルのピクトグラムについては、協定を結んでいる民間企業等で独自に設置しているものであることから、現在設置されている表示については修正が難しい状態ではありますが、今後の設置が見込まれる津波避難ビルに関しては、サイズの大きさや視認性などについてアドバイスしてまいります。 ②訓練の参加率を向上するために、地域の状況にあった訓練の在り方を検討してまいります。 ③津波避難タワー・ビルは避難時の目的ではなく、避難が遅れ、どうしても浸水域から出れない方の緊急一時避難場所になります。津波対策としては、地震が発生したら速やかに津波浸水区域から逃れることが基本となります。現在は復興事業が進み、今年度中に高盛道路等（釜大街道線・渡波稲井線）が完成するという状況から、津波避難タワー・ビルに頼るのではなく総合的な津波避難対策が必要と考えております。なお、令和3年度以降に発表される県の津波浸水想定区域の内容次第で、今後の津波対策が検討する予定です。 豪雨災害に対する避難場所確保について、当課では令和2年6月に「洪水ハザードマップ」を作成・配布し、周知を図っておりますが、津波避難場所として指定していた垂直避難が可能な一部施設について、洪水への対応を可能としております。そのほかにも洪水による浸水が見込まれる地域について、必要な場合には新たな避難場所の指定についても検討してまいります。なお、石巻市にも影響を及ぼした昨年10月の台風第19号の際は、内水氾濫による被害ですが、別途下水道建設課で「内水ハザードマップ」を作成する予定となっております。 ④津波避難ビル指定の際は、ホームページやハザードマップ等で周知しております。また、地域の防災リーダーである防災士の研修会を通し指定場所をお伝えしており、地域によっては、津波避難ビルまで安全にたどり着けるのかといった訓練も実施しているところですので。なお、令和3年度以降に発表される県の津波浸水想定区域の内容次第で、津波避難ビル等の津波対策の在り方について検討する予定です。
16	旧北上川下流域における長期係留船舶	0隻	50隻	○	○	B	①目に見える実績がない。他工事の完了と共に当該事業が円滑に行われるよう徹底した準備を進めてほしい。 ②川の流れが妨げられることは、新たな災害に晒されることとなることから、水辺の美化と違法係留の撲滅に向けて活動の強化と合わせて、違法者に対して指導力を発揮してもらいたい。	①当事業は、マリナーを整備し、河川内の長期係留船舶を集約することで結果が導き出される事業であるため、関係機関との調整を密に図りながら、早期完成を目指してまいります。 ②今後も国・県と連携して、合同周知活動（不法行為であることやマリナー整備情報等）を継続し、長期係留船舶の解消に取り組んでいきたいと考えております。

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R1実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価		
17	空き家等の活用 件数 (H27年度～ R2年度累計)	15件	13件	○	×	C	<p>①空き家問題は今後間違いなく石巻市の課題になる事項であると感じている。現在、空き家に関するKPIは移住促進や担い手育成として活用するという視点での設定になっているが、今後の空き家対策事業についてこのような視点によるKPIで良いのか見直しをしていただきたい。市内に2,000軒以上の空き家があるということで、今後の課題になると思うが、8,000万円かけて移住促進等に空き家の活用を図るより、移住促進や担い手育成には空きが出てきている復興公営住宅等の状況を加味しながら取組を検討していただきたい。</p> <p>②千葉県が子育て支援に力を入れるということで、空き家を小規模保育に利用し、その結果子育て支援が充実し移住者が増えたという事例があるようである。空き家＝移住者だけではなく、空き家とその他の異なった視点の掛け合わせの施策も有効なのではないかと思った。</p> <p>③空き家対策×移住対策以外の方策の検討。他地域での空き家対策×子育て支援の施策の調査をぜひしていただきたい。</p> <p>④個別相談の充実が必要であると感じている。</p> <p>⑤復興住宅も空いているので、空き室をリフォームして貸すのも難しいように思う。土地が広い空き家であれば家庭菜園をする人に貸す等をしてみてはいかがか。</p> <p>⑥空き家対策×移住者誘致という考え方そのものを見直すべきかと思う。もちろん、移住者誘致も必要だとは思いますが、移住対象者も現在は若者中心となっており、若者は移住者というより回遊者という表現になりつつあるのが現代の実情ではないか。そのような意味でも、空き家×移住者という視点のみでは、空き家問題の解決には至らないと思う。年に数人が移住してもそれ以上に毎年空き家が増えていくとしたらどうだろうか。費用対効果を考えても、根本的に見直しをするべきだと思う。</p> <p>⑦空き家の利活用も大事であるが、防災上の視点から解体に向けても体制を強化すべきと考える。また、耐用年数が過ぎている市営住宅については、住民に移転先を示し、出来るだけ早急に解体するべきである。復興公営住宅に入居するの高齢者への支援を強化すべきであるがいかがか。</p> <p>⑧空き家につながる路地裏をセットで考え、湊町ならではの路地裏文化をつくることも考えていければ良いのではないか。</p> <p>○空き家というのは、所有者や税金、相続等様々な問題を抱えていることから、移住促進や担い手育成と一体的に考えるのが適切かについても再考していただきたい。空き家がそのまま残されてしまうことにより環境面や安全面等で問題になってくると思うので、相続等の手続きをスムーズにとれる窓口を設置する等の対応策について検討していただきたい。</p> <p>○民間事業者を活用し、更なる情報発信を行い、「空き家」問題に取り組む先進的な好事例を期待する。</p>

基本目標2 人材を育成し安定した雇用を創出する

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R1実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価			
18	看護師、保健師、社会福祉の専門的職業の有効求人倍率 (常用フルタイム)	1.50以下	2.22	○	○	B	<p>①アンケートの結果が出ているが、職種別に見ると「決め手になった」と回答している人の割合はどうなっているのか。保育士と看護師は特に人手不足が著しく今後も状況が悪化していくと予想される職業であることから、この制度がどの程度有効なものかを分析し、しっかりと見直す必要があると思う。</p> <p>②石巻市に優秀な人材を多く集める観点から、一人当たりの補助金を増額した方が良いのではないかと。就労先の確保と就労先の賃金等労働条件を明示させ、就労予定者に選択の幅を持たせるようにするとより良いのではないかと。</p> <p>○職種別等に分析できないアンケート形式になっているのであれば、アンケートの取り方について検討していただきたい。ぜひこの制度のあり方について見直し、若者が石巻に戻りたい、石巻で就職したいと思わせるような取組となるよう改革を進めていってほしい。</p>	<p>①無記名かつ職種を回答させないアンケート形式となっており、職種による集計はできません。</p> <p>②令和元年度までの新規申請者119人のうち、助成(予定)総額が上限額の60万円となる者は28人と、2割程度であります。令和元年度は事業所の採用活動に当該助成金を活用していただいたこともあり、申請者数が大幅に増加いたしました。今後も事業所等関係機関への周知活動の実施により、人材の確保を図っていくこととしております。</p>
19	地域医療福祉セミナー参加者数	50人/年	109人	◎	◎	A	<p>①セミナーの企画運営は誰が行っているのか。事業予算があってもいいのではないかと。半島部の地域医療等はまだまだ課題もあるので、在宅医療や看取りへの関心が高かった声があったという部分に期待もある。ぜひ、地域医療拡充につながる医療従事者とその受け入れ態勢の環境整備を並行して行ってほしい。</p>	<p>①包括ケア推進室と病院管理課の共同で企画しております。具体的な内容については、包括ケア推進室の保健師や社会福祉士、市立病院の医師、看護師の専門職で検討しております。今後も研修等で地域医療に関する普及啓発を行ってまいります。</p>
20	石巻地区勤労者福祉サービスセンター会員数	3,500人	2,600人	×	×	D	<p>①目標値と実績がかけ離れているので、目標値の再検討も考えていいのではないかと。また、案内いただくサービスが毎年同じものの繰り返しとなり、運営の視点が変わっていないと思われるので、新しい視点や新しい意見が取り入れられるような運営となり、新しい取組をしていただけることを期待する。</p> <p>②加入のメリットを再度見直し、魅力ある制度設計をしていただきたい。</p> <p>③運営協議会のメンバーを見直してはどうか。もう少しアイデアを工夫すれば、数字は上がると思う。</p> <p>④周知活動ももちろんだが、会費に見合うサービス内容に魅力を感じないのではないかと。加入者より加盟店の拡大を重視してはどうか。</p> <p>⑤市内の中小企業の福利厚生事業充実を補完することが就労支援につながる。整備されていない企業が多いと思われることから、2市1町のホームページへの定期的掲載を継続し周知していただきたい。市長・町長を含む理事会での決定に基づき事業展開できるよう拠出金の額を各市町で増額していただきたい。サービスセンターの事業展開の充実を進めるための人材を育成していただきたい。</p>	<p>①目標値についてはセンターの理事会でセンター自体の目標として決定しているものであるため、市独自で変えることはできません。3月に開催された理事会において、市から新しい視点の新しい事業をするべきではないかという意見を述べさせていただきました。また、今回の新型コロナウイルスの発生により、事業のあり方も検討すべきではないかと考えております。</p> <p>②魅力ある制度設計については、3月に開催された理事会において、市から新しい視点の新しい事業をするべきではないかという意見を述べさせていただきました。また、今回の新型コロナウイルスの発生により、事業のあり方も検討すべきではないかと考えております。</p> <p>③運営を協議する場である評議員会の中で、アイデアを出し合っていきたいと考えております。また、評議員の改選時期にはメンバーの見直しについても協議してまいります。</p> <p>④会費に見合うサービス内容の充実のため、今後もサービス提供加盟店の拡大に努めていきたいと考えております。</p> <p>⑤定期的な広報紙やホームページへの掲載については、今後も継続して実施し、周知を図ってまいります。また、拠出金(補助金)の増額は難しいと考えますが、人材の育成を含め、事業の充実については、理事会等の機会に申し入れたいと考えております。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R1実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点工夫点	総合評価			
21	創業・第二創業件数 (H27年度～R2年度累計)	170件	155件	○	○	B	<p>①創業者の年齢についてわかっている範囲で教えてほしい。</p> <p>②県信用保証協会とも連携を取り、仙台市並みの創業者向けの融資制度の立案等検討していただきたい。</p> <p>③小学校から起業教育とキャリア教育をカリキュラムに組み込む石巻独自の指導体系も必要だと考える。</p>	<p>①正確な数字での把握はしていませんが、20～50代まで幅広く万遍なくいるという印象です。</p> <p>②これまで県信用保証協会を含む関係団体との情報交換等を行っておりますが、引き続き連携して、創業者が必要な融資等の支援を受けられるように取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>③義務教育の早い段階からの起業教育やキャリア教育で様々な職業について学ぶことは、自らのより良い生き方を求め将来の夢や目標につなげる力を養う上で大いに役立つほか、地域産業を知り理解を深める良い機会であると考えております。本市においても、志を高める取組としてキャリア教育を推進しており、児童生徒が職業調べや職場体験等を通して自分自身の職業観を養っているところですが、産業推進の立場からも、学校教育担当部署と連携して取り組んでまいりたいと考えております。</p>
22	創業相談件数 (H27年度～R2年度累計)	240件	229件	◎	○	A	<p>①全国的に広がりを見せている「Biz」事業に見劣らない支援人材の確保等により創業だけの支援ではなく、拡大・発展により、石巻市を代表する企業作りにもつなげていこうな取組を期待する。</p>	<p>①石巻市の委託事業として、石巻産業創造(株)においてI-Biz事業を展開しており、幅広い業種からの相談に専門の中小企業診断士が応えております。また、経営者向けセミナーで事業継続を強固なものとする取組を作っており、今後も創業支援をはじめ、市内企業の経営基盤を盤石なものとするべく取組を続けていきたいと考えております。</p>
23	肉用牛産出額	12億円	12億円	◎	○	A	<p>①DNA不一致等の報道により、ブランドが傷つけられていないか心配である。</p>	<p>①DNA不一致による宮城県産牛への影響については少なからず出ていると思われまます。再発防止策として、「宮城県家畜人工授精の適正化に関する実施要領」を制定し、要領に基づき定期の台帳検査に加え抽出検査を実施するなどチェック体制を強化し信頼回復に向け取組んでいるところであります。</p>
24	6次産業化事業計画認定数 (H27年度～R2年度累計)	20件	9件	×	×	D	<p>①石巻には魅力的なものがたくさんあるが、石巻といえばこれというものがないように感じる。石巻といえばというものを創出するために6次産業化というのが非常に有効であると思うが、産業復興支援員の選定はどのように行っているのか。</p> <p>②少なくとも直近3年の間に産業復興支援員の顔ぶれが変わっていないことが気になっていた。評価シートを見ると、様々なことに取り組んでいるようだが、まだまだ数字も伸ばせるように思うので、各支援員の支援の動きについて市からもっと働きかけをしてもらえると良いと思う。</p> <p>③事業PRの展開先などでもっと工夫が出来そうだと感じた。栄養士の資格を持つ子育て中のママや、農家に嫁いで来た若いママたちの視点を発揮できるような場などがあっても良いのではないかな。</p> <p>④支援員の質の向上・維持について発注者としての責任を持つことを期待する。当該事業の有効活用により、特色ある事業者の発掘・支援を推し進めてほしい。</p> <p>⑤費用対効果を再度検討する余地があると思う。</p> <p>⑥使い勝手の良さ、わかりやすさ等を含め、利用者目線での対応をしていただきたい。</p> <p>⑦事業費の割には大きな成果は認識できないことから、運営自体を再検討する必要があると思う。改善等について「進めていく必要がある」とか「検討していく」とかの段階ではないと思う。</p>	<p>①6次産業化に係る事業は委託して業務を行っており、産業復興支援員は石巻産業創造(株)に委託しております。6次産業化センターについては(株)東北農都共生総合研究所に委託しており、両者が連携強化して事業を進めているところであります。しかし、なかなか実績が伸びていないというところで、来年度に向けてこういった業務が必要か等の見直しについて着手してまいります。</p> <p>②指摘いただいた点について、市としても問題であると認識しておりました。復興10年目となり転換期であることから、そういったことも踏まえて検討していきたいと考えております。</p> <p>③現状、各イベント会場や物販ブース、SNSで事業PRを行っていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により軒並み事業PRの展開先に苦慮しているため、今後、貴見のとおり新たな展開先を視野に進めてまいります。</p> <p>④特色ある事業者の発掘・支援をするには、支援員の専門的な知識や経験が不可欠であり、支援員の質の向上・維持についても当然必要になってくるため、支援員の後方支援を模索・検討してまいります。</p> <p>⑤センター全体の相談件数は年に300件程度あり、そこから全てを商品化に繋げているわけではありませんが、事業の一定の効果はあると考えております。</p> <p>⑥まずは6次産業化センターの存在を周知し、農協や漁協の組合員などに対し、制度や支援策の周知をしてまいります。</p> <p>⑦事業費の大半を人件費が占めており、その他は固定費の為、削減は難しいと考えております。また支援員によって得意な支援分野・支援策が異なる為、人員減も調整が難しいものと考えております。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R1実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価			
25	農林水産業新規就労者数 (H27年度～R2年度累計)	40人	39人	◎	○	A	<p>①正組合員、準組合員それぞれ1名が出たということであるが、漁業権を得たということか。漁業権を得て独立したのであれば、設備や船の購入に係る資金はどのようにしたのか。</p> <p>②市に新規就農で来られた方がいれば、JA青年部の方も活用していただきたい。年代も10代から50代までおり、作っている作物も様々であるのでアドバイス等できると思う。</p> <p>③担い手センターを特定の事業者のみで運営するのではなく、農業者、漁業者全体が担い手になれるような取組としてこの事業が波及していけば良いのではないかと。今実施している担い手育成は移住者に特化しているという印象である。移住コンシェルジュが石巻に居るのだから、わざわざ農業や漁業を分けて窓口を設置する必要はないと思っている。移住コンシェルジュが地元の農業者等ときちんと繋がっていれば、移住して農業をしたいという人が来て移住コンシェルジュが今の担い手センターの機能を十分果たせると思う。 地元では農業をリタイヤしていく人も多く耕作放棄地も増えている状況にあり、もう少し地元にいる人たちにも目を向けていただき、地域の人々が気軽に参加できるような取組にしてほしい。</p> <p>④委託先を一社ではなく、一社あたりの予算を小さくして委託先の数を多くしてみてもどうかと思う。漁業や農業は繁忙期が集中し、一定の時期のみ人手が足りず、しかし通年を通して雇用をするのは難しい業種だと聞く。担い手育成より、そういった雇用維持ができるよう農業者や漁業者へ直接、通年雇用が確保できるような事業展開への専門性の高いアドバイザー設置や補助の施策に方向転換も検討が必要ではないか。移住してきてもどうしても単身者に限定されるシェアハウスを利用し、農業や漁業で起業する確率より、現在、地域で頑張っている農・漁業者の状況や問題点をしっかり分析し、将来性や持続性の底上げに投資する方が現実的だと思う。</p> <p>⑤漁業において「特区」方式が良いとは思わないが、新規就労者が安心して働ける労働・生活環境の整備を後押ししてもらいたい。特に漁業は3K職場と言われている。後継者不足が言われている中で地域の漁業を絶やさないためにも個人経営が難しいところは、共同体としての組織に変えて支援していく時期と考える。農業においても共同経営的な組織づくりが進んでいる。</p> <p>⑥雄勝で頑張っていた男性が別の道を歩むことになったという話を聞いた。他県の成功例を学び、定住・定着が進むことを期待する。</p> <p>⑦離職者の追跡と分析が必要だと思うが、いかがか。</p>	<p>①1名が正組合員となったところですが、まだ先輩漁業者の協力を得ながら漁業に取り組んでいる状態であり、一人前の漁師にはなっていません。今後、船等の購入については、独立支援を活用していくものと考えております。</p> <p>②今後、新規就農の問い合わせ等があった場合に、ぜひ紹介させていただきたい。</p> <p>③現在の担い手センターは、他地域から来た農業をやりたいという人と地元の様々な分野の農業者を繋ぐ役割を担っております。漁業については、農業と違う点として漁業権が絡むことがあります。漁業協同組合に認められなければ漁業権の取得は難しいため、まずは地域に溶け込んでもらい、漁業者に認めってもらうことが重要であります。今後の担い手センターのあり方について、移住者については、地域の人に認められることが第一であるため地域の人が運営する担い手センターに入ってもらい地域に溶け込めるように配慮した取組を進めてまいります。それに加えて、他地域から移住者を連れてくることにも限界があるため、地域の漁業者のお子さんに後を継いでもらう流れを生み出し、彼らにも担い手センターを活用してもらい、地域に認められた漁業者を生み出せるような仕組みを構築できれば良いと考えております。</p> <p>④水産業担い手センター運営業務については事業開始当初から委託先が同一であり、県漁協各支所とも連携を図りながら、地元漁業者の本事業への理解も根付いてきております。また、求人元が求める様々な就業形態についても正しく理解し、漁業就業希望者へのアドバイス、サポート体制も構築できております。現在の委託先以外に、より効果的な事業が実施可能な委託先候補については今のところ存在しないものと考えております。また、本事業では大学とも連携し、集落単位での漁業の現状把握を行うため、漁協組合員ごとの経営状況等の調査も行っております。</p> <p>農業担い手センター運営業務については、就農希望相談業務のほか、農業法人や地域担い手を訪問し、研修の受入れや雇用可能性などについて聞き取りするなど、経営体の課題洗い出しなども行い、双方向でのサポート体制を構築しております。また、様々な機会を捉え、活動内容等の周知に努めており、農業者からの認知度も向上しております。高度な経営指導については、宮城県担い手総合支援協議会と連携し、税務会計や労務管理などの専門家の派遣指導を活用し、農業者の経営改善に努めております。すでに農業に従事されている方々への支援継続も必要であるとは思いますが、地域農業を持続していくためには、事業（施設や機械、農地）を引き継ぐ体制を整えることも重要であると考えております。</p> <p>⑤担い手育成事業の一環で集落単位での経営状況のヒアリングを実施した中で、高齢化に伴う経営規模の縮小や後継者不足は見受けられております。持続可能な浜とするために、中規模経営体の維持や事業拡大も考慮した強化を図ることが今後必要と見込んでおります。共同体での事業継続が実現可能かどうかも含めて総括的に検討していきたいと考えております。</p> <p>⑥この男性については、新型コロナウイルスの影響もあったため、別の道を歩むことについては白紙に戻し、現在雄勝地区の復興公営住宅に居住し、引き続き漁業に従事しております。</p> <p>⑦離職者の追跡及び分析については必要であると考えており、離職の意向を示された際に理由や次の就業先の意向について確認しているところでありますが、離職後の調査については個人情報観点からも好ましくないと考えております。離職時に確認した離職理由等を分析し、一人でも多く就業の定着に繋げるなど、より良い施策の展開ができるよう今後も努めたいと考えております。</p>
26	輸出増加数量 (平成26年比)	50トン増	29.1t	○	○	B	—	—

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R1実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価		
27	観光客入込数	3,600,000人/年	4,047,045人	◎	○	A	<p>①KPI自体は観光客に目を向けた設定となっているが、牡鹿ホエールランドや雄勝硯伝統産業会館等については、観光客のみならず、市内の子どもたちに向けた発信もした方が良くはないかと思う。教育は3年先の種蒔きと言われており、子どもたちが地元を離れた後に帰って来たいと思ってもらうためにも、これらの施設を活用した教育をカリキュラムに取り込むべきではないかと考えている。</p> <p>②リボンアートフェスティバルの入込数の集計はどのように行っているのか、今年度の開催はどういう予定なのか。</p> <p>③観光客はもとより、地元民にもわかるようにインターネットやSNS以外での広告などを考えてほしい。観光マップや食事どころなどのパンフレットがあれば良いのではないか。</p> <p>④リボンアートフェスティバルの参加数がかかりの割合を占めるイメージなので、今後、新型コロナウイルス感染症の拡大が落ち着いたら、これから更にインバウンドや県外へのPRを強化してほしい。</p> <p>⑤コロナ社会に対応し、目標値そのものなどを大きく見直すべきかと思う。遠隔対応型イベントなどにも補助が使えるようにするなどイベント補助金の内容も検討が必要かと思う。</p> <p>⑥リボンアートフェスティバルについて、チケットが無いと入れないことから実来場者数29,000人に対し44万人は誇大表示ではないか、主催者側の自己満足なのではないか、と思うので、再検討されたい。</p> <p>⑦雄勝硯の日本伝統文化と「おしかホエールランド」の食文化、捕鯨の歴史、海との関わり、海洋教育など、石巻で学んでいる小中学生、高校生も含めて、全ての子どもが体験・見学を通じた学びをすることがこれからの観光にもつながると考える。よって、教育委員会との連携が不可欠だと思う。</p> <p>○2022年度には全ての学校においてコミュニティスクールが努力義務とされるので、教育委員会と連携して各施設での学習をカリキュラムに取り入れ、単なるイベントで終わらないようにしていただきたい。</p> <p>○復興からの新しい石巻を発信しているように感じている。石巻らしさをどう演出するか、期待している。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)		R1実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応
				実績評価	改善点工夫点	総合評価		
28	石ノ森萬画館入場者数	199,652人/年	229,633人	◎	◎	A	—	—
29	観光交流施設の来場者数[再掲]	1,264,684人/年	1,338,733人	◎	◎	A	—	—
30	道の駅来場者数	1,050,000人/年	910,092人	○	○	B	<p>①来場者数のカウンターを元気いちばと同じ様にすると比較や検討がしやすくなるのではないかと。</p> <p>②6次化事業との連携により、販売チャネルとして活用してもらえるような取組を期待する。</p> <p>③イベントなどの広告をもっとしてもいいのではないかと。</p>	<p>①これまでレジ通過者のみを来場者数として算出していましたが、より実績に近い数値を計測するため市内他施設と同じようにカウンターを設置し、すべての来場者数を計上することにしたいと考えております。</p> <p>②商工課や6次化センターと連携して取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>③新聞に折り込みしていた上品の郷だよりは、経費節減のため終了いたしました。今後は現在の情報発信形態のほか、地元テレビやラジオの情報コーナーを更に活用し、より多くの誘客に繋げていきたいと考えております。</p>
31	外国人観光客宿泊者数	3,000人/年	2,429人	◎	○	A	<p>①田代島のねこ島アピールについて、ユーチューブ等を使ってもう少しアピールすると、世界のねこ好きが来るのではないかと。</p> <p>②令和2年度の工夫等について、新型コロナウイルスの終息を待つ表現もあるが、そうではない社会になると想定した施策の方向転換を求められていると思う。外国人の受け入れ環境整備、外国人にも利便性の高い電子マネーの導入拡大、促進など、この観光客が止まっている今こそ、しっかり受け入れの準備をする良い機会にするべきではないかと。</p> <p>③駅周辺の宿泊場所またはステーションホテルなどをもう少し増やすなど検討できないか。石巻が観光の通過場所になっているような気がする。</p>	<p>①田代島を訪れるインバウンドや、マンガアイランド利用客は年々増加しております。昨年は人気アニメクリエイターのプロデュースにより田代島及び金華山、ホエールタウンおしかの動画をユーチューブ配信し、動画配信の効果を実感していることから、新型コロナ収束状況を見極めながら、今後も国内外に向けた効果的な情報発信をしていきたいと考えております。</p> <p>②大型客船の来航等、本市を訪れるインバウンドは年々増加傾向にありました。インバウンド受入環境整備のため、今年度も多言語標記の案内板の設置を予定しております。今後も街なかインバウンドネットワーク協議会等と連携し、新しい生活様式に沿った受け入れ態勢の強化を図ってまいります。</p> <p>③駅周辺ホテル整備等については、民間活力によるものに依存しており、行政としては手を出しかねますが、通過型観光からの脱却、滞在時間の延長は本市の観光における課題となっており、夜間コンテンツの開発、周遊コースの設定、磨き上げ等関係団体と連携し取り組んでまいります。</p>
32	オープンデータ活用事例数 (H27年度～R2年度累計)	12例	11例	◎	○	A	<p>①女川原発再稼働に関する様々なニュースが出ている。原発事故が起きた際の避難対応にあたり風向きと風力の情報が有益であると考えている。気象データをオープンデータ化し季節ごとや月ごとに風向き等を把握できるようになることで、避難計画の検討にも使えると思うのでぜひオープンデータ化について検討していただきたい。</p> <p>②市民バスの有効活用や民間タクシー会社との連携により、交通弱者の削減へと繋げてもらいたい。</p> <p>③オープンデータの気象情報の活用は農林漁業だけでなく多くの現場・産業・機関で貴重な道しるべとなりうる。また、原子力防災だけではなく、自然災害等でも利用できる情報源である。安全確保のためにも早急に使用環境の整備を進めて市民が活用できるようにすべきである。特に原子力防災においては命を守る大事な指標になりうるものである。</p>	<p>①気象データは様々なデータと組み合わせることで利用価値が高まるものであると認識しております。現在、市には気象情報を収集する仕組みがないので、国が公表していると思われる気象に関するオープンデータと市のオープンデータと組み合わせて活用していきたいと考えております。</p> <p>②交通施策に効果的なデータをオープン化していくためにも、交通事業者等からの情報提供を依頼してまいります。</p> <p>③気象情報は様々な分野で活用できる貴重な情報であると認識しております。市では気象に関するデータを収集する仕組みはありませんが、気象庁では気温、降水量、風速などの気象情報が公開されており、気象庁で公開されている情報に市の保有している各分野の情報を組み合わせて活用していきたいと考えております。</p>
33	石巻テレワーク登録者数	100人	179人	◎	○	A	—	—

基本目標3 絆と協働の共鳴社会をつくる

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R1実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	委員質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点工夫点	総合評価			
34	コミュニティづくり支援補助金申請件数(復興公営住宅分) (H27年度～R元年度累計)	30件	29件	○	○	B	<p>①復興公営住宅の入居者は独居老人も含め家族構成も変化してきているので、空き部屋が今後増えることを想定したときの活用はどうしたらよいか検討が必要だと思う。</p> <p>○各地区で活動している。</p>	<p>①退去後空家は、平成31年3月より一般の住宅として困窮する方向けに一般募集(定期募集:年4回)を行っており、順次入居いただいております。一般募集の他、耐用年数が経過した既存住宅の「移転計画」に基づいた入居者の移転先としても活用してまいります。将来的には、木造戸建て住宅等の払下げや福祉施設への貸出等目的外使用等の検討も進めてまいります。</p>
35	地域包括ケア推進拠点設置件数	7か所	1か所	○	○	B	<p>①KPIを拠点の設置からまるごと相談の設置に変更しているが、担当課評価が昨年度のCから今年度はBにあがった理由は何か。ささえあいセンターにまるごと相談窓口を設置したからなのか、それともこの事業自体が良い形で動き出しているからなのか。</p> <p>②福祉まるごと相談に連携する形で関わっているが、複合的な課題を取り扱うので、この事業に通常業務の中で取り組んでいくのは大変であると思う。ぜひ丁寧に進めていただきたい。</p> <p>③スケジュール管理の徹底を図って事業として成功させてほしい。</p> <p>④気軽に相談できるようにしてほしい。</p> <p>⑤施設ができただけではB評価に当たらない。必要に応じて支援は何もやらないのと同じである。支援内容・体制を明確にし、相談者に寄り沿って迅速に支援する体制を強化していただきたい。</p>	<p>①国が推進している「地域包括ケアシステムの深化・推進」を具現化できる取組を進められたということで、昨年度よりも担当課評価を上げ、B評価といたしました。</p> <p>②相談内容が複雑かつ多岐に渡るものが多くあります。ささえあいセンターには専門職のスタッフを置いており、総合支所としっかり連携しながら、丁寧な相談対応を実施していきたいと考えております。</p> <p>③今年10月には、各総合支所に「福祉まるごと相談窓口」を設置するなど、地域包括ケア推進拠点拡充に向けて順次推進してまいります。</p> <p>④相談の方法は、電話や来所、メールの他、アウトリーチ(担当者が出向いて相談を受ける)も行っております。また、「窓口」増設後、住所地に関係なく、どこでも相談できるように行ってまいります。</p> <p>⑤「断らない相談」「たらい回ししない」をモットーに、相談者のアセスメントを行い、課題の把握や緊急性の判断を行うなど迅速な対応に努めてまいります。また個別の検討会議や関係者とのネットワーク会議を行い連携体制の構築を進めてまいります。</p>
36	複合課題等に対する相談支援件数	36件	38件	◎	○	A	<p>①担当課評価がAで相談件数も伸びておりとても良いと思う。しかし、まだまだ拾われていない相談がたくさんあると思う。令和2年度の工夫等に記載されている「積極的なアウトリーチ」は素晴らしいことなので、是非強化して取り組んでもらいたい。</p> <p>②相談員のスキルアップを行うとともに、相談内容によっては迅速に弁護士等の専門家につなげるような体制を作っていただきたい。</p>	<p>①令和元年度の実績が38件となっておりますが、これは継続して関わっている件数を記載しております。そうではない件数も入れると、108件の相談を受けております。そのうち38名の方については、様々な困りごとを抱えていたので継続して関わっております。平均すると一人あたり20回ほどの相談や関わりの回数を重ねております。今後も丁寧な相談の対応に努めていきたいと考えております。</p> <p>②庁内外の研修を通じ相談員のスキルアップを行うとともに、関係機関のネットワーク会議を継続実施し、迅速な対応に努めてまいります。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)		R1実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	委員質問・指摘事項に対する回答・対応
				実績評価	改善点 工夫点	総合評価		
37	地域包括ケア研修会延参加者数	1,000人/年	1,813人	◎	○	A	①関係者の研修会等は平日でもかまわないが、一般市民向けには土日に開催していただきたい。	①関係者の研修は、参加者の意向に応じて平日夜間の実施としております。一般市民向けに関しても、出前講座など主催者の意向に応じ今後も実施してまいります。
38	石巻市シルバー人材センターの年間延べ就業人員	45,600人	35,300人	×	○	C	<p>①昨年度に事業拡大を図ったと思うが、述べ就業人員数が減っているということは、その効果がなかったということか。</p> <p>②令和元年度の斡旋実績を見ると、サービス業の受託件数が0件となっているのが気になった。シルバー人材センターの会員登録者数の男女比とサービス業の受託件数が0件の理由を教えてください。</p> <p>③サービス業における女性のニーズはそれなりにあると思うので、今後シルバー人材センターとして就業人員数の増加を図っていくのであれば、サービス業への斡旋等の取組について強化していただくことで、女性の就業人員数や女性の登録者数の増加にも寄与するのではないかと思います。</p> <p>④就業種類の見直しと種類の拡大が必要ではないか。</p> <p>⑤人材活用によるメリットを魅力的なものにすべく再考していただきたい。</p> <p>⑥震災後、人数が増えたが、仕事が雑であるとの声が聞こえてくるがいかか。</p> <p>⑦サービス業にも参画すると、さらに登録者が増えるのではないか。</p> <p>⑧半島部には小さな仕事が多くあり、ご高齢者など余暇を利用して仕事がしたいという方は多くいるように感じる。半島部単位にサテライトセンター的にシルバーセンターを設置することなどは難しいのか。</p> <p>⑨県内の学校の消毒作業にシルバー人材センターの会員が4～5人で1校2時間程度で作業に毎日当たっているとの報道があった。作業人数は学校の規模にもよるが、危険は避けつつ、いろいろな作業を自ら開拓してはどうか。</p> <p>⑩会員は60才以上だが、登録者は何才代が多いのか。生きがいとして地域のために貢献し、地域の子ども達のために働くという視点もまた大切にしていければ良いと思う。</p>	<p>①事業拡大による効果はありましたが、それ以上に復興事業の終了に伴い、公共事業の発注及び受注件数が減ってきていることが延べ就業人員減少の最も大きな要因であります。また、新型コロナウイルスの影響により管理している施設が休館する等の変化があったことも、延べ就業人員が減少となった一因にあります。</p> <p>②令和2年3月末の会員登録者数としては、全体で465人、うち男性が367人、女性が98人です。更に、女性登録者98人のうち就業している人はその8割程度となっております。なぜサービス業の受託件数が0件なのかという理由について把握していないため、今後理事会等があった際に確認いたします。</p> <p>③今後理事会に出席した際に、まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議で出た意見を伝えてまいります。</p> <p>④就業種類の見直しと種類の拡大については、公益社団法人にそのような意見があった旨伝えてまいります。</p> <p>⑤人材活用によるメリットを魅力的なものにすべく再考することについては、公益社団法人にそのような意見があった旨伝えてまいります。</p> <p>⑥仕事が雑であるとの声は把握しておりませんが、丁寧に仕事をするよう公益社団法人に伝えてまいります。</p> <p>⑦サービス業（主に家事）にも参画しておりますが、介護保険制度の関係からか、需要がない状況となっております。</p> <p>⑧現在、河北地区には支所が設置されております。御意見として伝えさせていただきますが、設置の判断は公益社団法人になります。</p> <p>⑨学校での定期的な業務は行っておりませんが、毛虫等が発生した際に随時市の依頼によって1名程度が消毒作業を行っております。今後も、いろいろな業務を受注できるよう働きかけてまいります。</p> <p>⑩会員の約68%が70歳以上となっております。今後も、生きがいとして地域のために貢献し、地域の子ども達のために働くという視点を大切に活動していく旨を伺っております。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R1実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	委員質問・指摘事項に対する回答・対応
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価		
39	住民主体による訪問型・通所型サービスの実施団体数	13団体	1団体	×	×	D	<p>①平成28年度から開始した介護保険法の新しい事業の一つと認識しており、開始から4年経っている。通常3年ほどで事業制度を見直すものと考えているが、ずっと1団体のみで実施しているのはなぜか。このような状況について、どういった分析をしているのか。</p> <p>②市として難しいとされるところをカバーしないと民間の活力につながらないと思う。この国の規準の難しさという点に対して、今後どのような支援をしていくのか。</p> <p>③予算等も含め、根本的な見直しが必要だと思う。</p> <p>④補助金額の割に条件をクリアさせることが難しい事業だと感じる。事業の見直しが必要なのではないか。民間活力を引き出すような支援体制にシフトすべきである。</p> <p>○昨年度も質問をしており、難易度が高い事業であると聞いている。自分たちが設定した目標に対してずっと1団体という状況はいかなものかと思うので、今後しっかり見直しをお願いしたい。</p> <p>○この事業をまだ実施していなかったり、やってみたいけどハードルが高いとっていたりする団体をどのように育てていくかという視点も重要であると思う。数年かけて育てていくようなプログラムを作る必要があるのではないかと。ぜひ専門家の方の知見を集めて検討して欲しい。</p> <p>○実施している団体が1団体にとどまっていることはやむを得ないと思っている。予算が少なく、介護保険事業所等の多くの事業所でこのような事業を既に実施しているので、市が主導でやらなければいけないものなのか疑問である。しっかりと再考してもらいたい。仮にこの事業に取り組みたい団体がいても、ボランティアで、ケアマネジメントの仕事がこなせて、怪我をさせてしまうリスクを負いながらやろうとするのは難しいかもしれない。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R1実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	委員質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価			
40	都市公園愛護会 結成数	125団体	127団体	◎	○	A	<p>①復興団地で考えると、歩道等もあり管理する面積が広すぎるという実態があるので、その対策について市の協力をお願いしたい。</p> <p>②町内会ができてきて、活動が活発になり公園の除草もやり始めているというところもある。そういった公園愛護会を結成していないものの、公園の維持管理に資する活動を行っている団体へも何らかの助成があると良いのではないか。</p> <p>③公園は避難場所等の防災上の重要な拠点である。公園愛護会等の団体の方々が中心になりながら、家族を巻き込み、地域にある学校を巻き込んでいくことで、愛護会が充実していくのではないかと思う。担当課評価について、結成数という数の面で見ればA評価であるが、質の面で見るとどうなのか。</p> <p>④復興公営団地の新設町内会は既に町内会行事として毎年範囲を決めて清掃除草作業を行っていることから、公園愛護会結成に向けて(大規模公園を除いて)、区域を分割して要請してはどうか。ただし公園の規模が大きいことから直営で管理していただきたい。</p> <p>⑤子ども会の機能がなくなってきている。高齢者相互の関係づくりに加え、親子とのふれあいも大事にしてほしい。学校教育、社会教育の中でも啓発してもらい、特に公園清掃は合同で実施するところに価値を深めることができると思う。</p> <p>○各地区で草取りをしたり、掃除をしたり、管理している。</p>	<p>①公園愛護会は身近な公園の清掃や除草をしていただくことが主な活動内容となっており、町内会、自治会、子ども会等の地域の団体が中心となって結成していただいております。復興団地について、新しい団地の場合は特に新たなコミュニティの形成が難しく、人が集まらない等の課題があることから、愛護会を結成して管理していただいている公園が少ない状態です。愛護会による管理ができていない公園は市が直営で管理しておりますが、資機材を貸与する等の制度を作り、地域の負担軽減を図っていきながら愛護会の結成と愛護会による公園の管理を促していきたいと考えております。</p> <p>②町内会と話をする機会もあるので、できるだけそういった要望に応えられるように検討していきたいと考えております。</p> <p>③公園は地元の身近な集まりの場であり、大人や子ども問わずコミュニティを形成する場でもあります。愛護会は身近な公園の清掃や除草等、これまでボランティアでやっていたものを一歩進んだ形で恒常的に活動をしてもらい、市の負担を軽減するという目的もあります。地域によっては、学校を通じた清掃活動や植樹活動等をしていただいているところもあります。現在、愛護会が127団体で、管理してもらっている公園が266公園となっており、市内の公園の約半数において愛護会が結成され管理していただいております。残りの公園についてもコミュニティ形成の一助となるので、町内会への声かけ等行い、結成していただけるよう努めていきたいと考えております。</p> <p>④現在、新市街地の町内会に公園愛護会の結成について要請しているほか、関係機関(コミュニティ支援団体)を通じて、いくつかの復興公営住宅団地会にも公園愛護会の結成を要請させていただいております。今後も引き続き、復興公営住宅団地会も含めて公園愛護会の結成をお願いしてまいりたいと考えております。公園愛護会は、身近な公園の清掃や除草などが主な活動内容となっておりますので、規模の大きい公園については、市直営での管理や造園業者等への委託により今後も管理を行ってまいります。</p> <p>⑤公園愛護会活動は、高齢者や子供相互の交流のほか、三世代交流の場にもなることから、地域コミュニティの一体感の醸成に寄与するものと考えております。今回ご提案いただいたことを踏まえ、より一層公園愛護会活動の促進に取り組んでまいります。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R1実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	委員質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価			
41	旧石巻ハリストス正教会教会堂来館者数	6,000人/年	2,719人	×	×	D	<p>①複合文化施設のパンフレットに萬画館やモニュメントなどの紹介が入ると思うが、ハリストス教会や観慶丸、町名の由来なども含めて掲載してはどうか。石巻を一括PRしてもらいたい。費用対効果にもつながると思う。</p> <p>②石巻に住んでいる子ども達の学びの場になるよう、教育委員会として各学校に働きかけるとどうでしょうか。</p>	<p>①今後作成する複合文化施設のパンフレットとしては、他施設の情報や地域の歴史的な情報などの内容も網羅すると、本来施設の紹介として必要な部分が疎かになったり、わかりにくくなってしまふ恐れがあることから、紙面の関係上、芸術文化センター・市博物館の施設案内を主とした内容で検討しております。旧石巻ハリストス正教会教会堂や旧観慶丸のPRについては、引き続き独自パンフレットによる周知と市ホームページの充実等により対応してまいります。</p> <p>②小学校の社会科副読本「わたしたちの石巻」に旧観慶丸商店と併せて後世に伝えたい施設としての記載がなされており、貴重な文化財であると認識し伝承する気持ちが醸成されるよう引き続き各学校での指導をお願いしてまいります。</p>
42	石巻市指定文化財旧観慶丸商店利用者数	12,000人/年	19,226人	◎	○	A	<p>①今後はリボンアートフェスティバルに頼らず自走できる工夫をしていただきたい。</p>	<p>①市及び指定管理者主催事業の充実を図るとともに、一般貸館と来館者の増加に向けたPRに努めてまいります。</p>
43	移住コンシェルジュを活用した本市への移住人数	10人/年	10人	○	○	B	<p>①移住者は石巻市のどの地域にどのくらいの人数が住んでいるのか。どの地域に移住者が多いかといった情報だけでも、移住者にとって魅力とを感じるポイントの分析に役に立つと思う。</p> <p>②3,300万円の事業費は評価シートNo.43から45の各事業それぞれにかかったということか。それともこの3つで3,300万円ということか。</p> <p>③移住コンシェルジュに大きな予算を投入し続けなくても、すでにいる移住した人達や市民にコンシェルジュ認定をするなどし、市民みんなで移住者獲得を行える事業にした方が良いと感じる。</p> <p>④上場企業カチタス等の活用により、事業拡大を期待する。</p> <p>⑤直営では難しいことからコンシェルジュに委託するのもやむをえないと思うが、費用対効果を考えると、単純に移住補助金制度をグレードアップ(住宅情報・就労情報・教育環境・補助金等)してホームページで募集することを考えてみる時期ではないのか。</p>	<p>①どういった方がどこから来て、どのような職業に就いたかまでは把握しているものの、移住後に住んでいる地域については把握しておりません。</p> <p>②それぞれで事業費がかかっているわけではなく、移住コンシェルジュの委託料等として全体で3,300万円かかっているものです。</p> <p>③コンシェルジュ業務は、幅広い知識を必要とするため難しいと考えております。移住者の声を聞く等の取組みはすでに実施しており、そういった声をHP等で周知し、移住者獲得に努めてまいります。</p> <p>④空き家等対策としても有効のため、活用については今後検討してまいります。</p> <p>⑤令和2年度で5年を経過することから、これまでの成果を再検証し、事業の見直しを検討してまいります。</p>
44	移住コンシェルジュへの相談件数	30件/年	21件	×	○	C	<p>①子育て世代からの質問はどんな内容があるのか。その世代へのアプローチはあるか。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症対策に関連して、新しいキーワードであるテレワークやワーケーションを提案してはいかがか。</p>	<p>①移住支援金や子育て支援金の有無、移住検討地域の学校や児童館、治安や自然環境等に関する問い合わせがあり、実情を説明しております。アプローチについては、みやぎ移住フェアなどのイベントが最も効果的ですが、令和2年度については、すべてイベントが中止になっているため、HP等を活用して子育てしている起業家のインタビューなどの発信を検討しており、子育て支援団体とも連携しながら情報発信していきたいと考えております。</p> <p>②首都圏等の企業の地方に対する関心が高まりつつありますので、委員ご提案のとおり、首都圏等の企業に対してテレワークやワーケーションの提案を行うことについて検討してまいります。</p>
45	全国移住ナビローカルホームページ閲覧数	1,000件/月	1,110件	○	○	B	<p>①No.44の相談件数、本ローカルナビHP閲覧数をそれぞれKPI評価するのはなぜか。あくまで実績数ベースでKPIの評価を行い、相談件数やHP閲覧数も総合的に評価すればよいと感じる。</p> <p>②多くの方が見に来てくれていることから、移住情報に特化したホームページを作って発信してほしい。まずは関心を持ってもらうことが大事だがその後に繋がる情報を提供してもらいたい。</p>	<p>①実績数ベースでの指標が一番わかりやすいところですが、それまでの過程についても重要視しているため、全国の移住希望者が本市に対する関心度を測るための参考として、相談件数等を目標設定しております。</p> <p>②総務省が運用する「全国移住ナビ」は、令和2年3月で閉鎖したことから、今後は石巻市の情報を発信する既存のツールをより充実させ、石巻市に興味関心を持ってもらえるような情報の発信に努めてまいります。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R1実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	委員質問・指摘事項に対する回答・対応
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価		
46	教育旅行受入件数 150件/年	181件	◎	◎	A	<p>①新型コロナウイルスの影響で東北に目を向けている学校が増えている。南三陸町では実際に教育旅行の件数が増えているという話も聞いている。石巻も南三陸町の取組の情報収集等を行い、石巻の魅力を大いにアピールして、ぜひ頑張ってもらいたい。</p> <p>②教育旅行については、宿泊した方のみをカウントしているのか、訪問している方もカウントになっているのか。</p> <p>③旅行会社へおいしい物のアピールをするのはどうか。</p> <p>④教育旅行誘致に対して、石巻市としての独自の特色がないと、他地域との競争には勝てないと感じる。コロナが完全には終息しない、感染拡大再来の可能性も高いと思うので、それを前提に視野に入れた改善、工夫を改めて検討すべきではないか。コロナが終息する前提での改善案では厳しいと感じる。</p> <p>⑤防災教育等、地域の方々との交流、農村部の民泊・農作業体験等、これまでの語り部ツアー等の参加団体等のデータを活用するなど、石巻市の熱いセールスマンが必要なのではないか。</p> <p>⑥防災学習に関しては、宿泊できる場所の確保がされていると、さらに充実した活動ができると思う。体験や見学ができるプログラムを観光客だけではなく石巻市で学んでいる子ども達にも提供してほしい。防災プログラムを石巻市の小学校、中学校で実施することのフィードバック効果は大きいと思う。</p> <p>○コロナ終息後に期待したい。</p>	<p>①新型コロナウイルスの影響により観光需要が落ち込んでいる状況にありますが、引き続きDMO法人と連携しながら頑張っていきたいと考えております。石巻への教育旅行は30～60人の小規模な教育旅行が多くなっております。今年の2、3月は新型コロナウイルスの影響で相次いでキャンセルという状況になり実績も下がってしまいましたが、引き続き教育旅行にも力を入れていきたいと考えております。</p> <p>②DMO法人が受けた実数を計上しています。日帰り旅行を含めてカウントしていますが、他の法人で受けた教育旅行の件数については把握しておらず、正確な全実数は把握できておりません。</p> <p>③本市の食については、恵まれた環境のもと水産物をはじめとする豊富な食材や、伝統料理等があり、積極的にPRしてまいります。</p> <p>④新しい生活様式を踏まえ、本市の恵まれた自然環境、伝統文化を活用した体験プログラムや震災伝承プログラム等を充実させ、他地域との差別化を図り、事業者や石巻圏観光推進機構と連携し積極的に誘致に取り組んでまいります。</p> <p>⑤教育旅行受入のコーディネート役である石巻圏観光推進機構及び石巻観光ボランティア協会等と連携し、震災伝承、防災学習、本市の文化・歴史等を伝える人材育成、研修等取り組んでまいります。</p> <p>⑥震災の風化を防ぐためにも、本市の子供たちに対する防災学習等は大変重要であると考えております。震災復興記念公園の完成も控えていることから、石巻圏観光推進機構で作成している教育旅行ガイドブック「アクティブ・ラーニングプログラム」の活用等、関係団体と連携し有益なプログラム等の充実を図っていきたくと考えております。</p>
47	石巻専修大学との助成対象事業件数 7件/年	12件	◎	○	A	<p>①この数年で石巻専修大の学生を市職員として何人ほど採用しているか。政策的に、地元大学の学生を採用していくのはどうなのか。</p> <p>②石巻市役所で働くことに興味を持ってもらえないことが原因の一つだと思う。卒業間近ではない学生を対象にインターンシップ制度的なものを導入して実益(賃金)を得ながら働いてもらってはどうかと思う。</p>	<p>①詳細のデータは持っていませんが、保育士としては採用していますが、行政職に関しては受験者はいるものの、合格には至っていないという状況であります。石巻専修大学の学生にはぜひ頑張ってくださいと思っておりますが、地元枠を設けるということは難しい状況にあります。</p> <p>②石巻市役所では毎年、石巻専修大学からのインターンシップ(3学年が中心)を受け入れており、多くの学生が毎年採用試験にもチャレンジしていただいていることから、本市では学生が市役所で働くことに興味がないわけではないととらえております。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R1実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	委員質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価			
48	市立高校の生徒が本市に引き続きたいと思う割合	70%	50.6%	○	○	B	<p>①学区が全県一区となり、石巻圏域の子どもたちの200人ほどは仙台圏の学校に進学しており、石巻圏域の高等学校において定員割れしているところも多い。市立桜坂高校は県内唯一の女子高であり、伝統を引き継ぎつつ品格教育等の女子教育を実践している等、非常に魅力的であると感じているが、中学校の段階で高校とどうつながっているのか。小中高と一貫して男女ともに活かせる品格教育等を石巻学のようなカリキュラムを組んで実践し、経済的支援も含め取り組んでいければより惹きつけるものになるのではないかと。</p> <p>②市立高校の先生は、他の学校に比べて真剣に教育を行っているという印象である。しかし唯一の女子高と強調しているが、男女共生の社会においては今後どうしていくのかを考える必要がある。</p> <p>③住み続けるためには、雇用がその先にあるため、就職率の向上等にも注力し、入学することのメリット（就職先がある等）を磨いてほしい。</p> <p>④福利厚生費の充実を図ることがKPIの向上にも寄与するのではないかと。</p> <p>⑤石巻市にとって、とても大切な事業だと思う。市立の高校1校のみで行う事業ではなく、地域内の高校に拡大して、町をあげて、地域、企業や大学と連携し、石巻市の一つの文化として長く根付くような事業にしてほしいと強く感じる。移住者誘致よりこちらに予算を投入してほしい。</p> <p>⑥なんでも男女平等といわれる中で「女子高」を運営することは勇気があり素晴らしいことだと思う。ぜひ継続していただきたい。KPIでは地元に残る人数について問題にしているようであるが、行政が企業にどれだけのことを求め支援しているかのパラメーターであると考え、行政側を再点検する必要があると思う。石巻に働きたい・働ける職場がないことが問題だと思う。</p> <p>⑦石巻市内に住んでいる受験生（高校受験）の100～200人程度が仙台や古川方面に進学している。小・中・高の一貫した品格教育やキャリア形成の実現を図る、新たな「地域連携型中高一貫教育」を検討してみようか。財政上からも、市立高等学校に進学するメリット（強み）を中学校段階でアピールできないか検討すべき課題だと考える。「石巻に住み続けたいと思う割合」と魅力ある学校づくりとの関係性は難しいのではないかと。</p> <p>⑧シビックプライドの醸成を図る施策も併用する必要があると考えるがいかがか。</p>	<p>①全日制の石巻地区高等学校においては、本年春の入試において1校以外定員が割れております。魅力ある学校づくりとして女子高ならではの学習、多様な進路への対応、キャリア教育の充実、学校の魅力発信の4点を進めていく旨を説明しましたが、今年度もその4点を重点取組として進めると共に、そこにできる限り小・中・高の連携の視点を入れていきたいと考えております。昨年度は未来づくりフォーラムで桜坂高校の生徒がファシリテーターとして小・中学生をリードしました。今年度は新型コロナウイルスの影響で未来づくりフォーラムを開催できなくなりましたが、何らかの形で連携を意識した取組をしてみたいと考えております。</p> <p>②このKPIは桜坂高校の生徒がいかにか石巻に住み続けたいと思ってくれるかについて考えるものであり、桜坂高校のあり方等については今後全体の中で話していければ良いと考えております。学校の存続については、学校教育課のみで決められるものではないので、全体で議論していく必要があります。</p> <p>③桜坂高校の進路状況（平成29年度から令和元年度まで3か年の平均値）は、卒業生の60%が進学、40%が就職しており、就職者の内定率は100%であるとともに、51.6%が石巻管内に就職しております。この進路状況を、学校案内等を活用し、中学校に周知してまいりたいと考えております。</p> <p>④福利厚生費の充実については、企業側の裁量によるものと認識しております。</p> <p>⑤石巻市内には公立高校が（桜坂高校を含め）7校あるが、桜坂高校以外は県立学校であり、設置者が異なることから、本市の事業をそのまま県立高校で実施することは難しいと考えます。しかし、できる限りの連携を図るとともに、桜坂高校においては、より一層、「魅力ある学校づくり事業」を推進し、充実させていきたいと考えております。</p> <p>⑥桜坂高校では、今後も継続して、県内で唯一の公立の女子高として「学校の魅力向上」と「学校の魅力発信」に努めるとともに、女子高という選択肢を市民に提供してまいります。また、地域とのつながりを重視した教育活動を展開することで、生徒に地域への関心を持たせ、定住促進につなげていきたいと考えております。</p> <p>⑦桜坂高等学校が女子高であるという性格上、現在、市立中学校及び市立高校の連携型中高一貫教育は想定しておりません。この事業は、「社会に貢献し、地域の力となる女性の育成」を目的の1つとしているため、将来地域社会に貢献する人材育成という視点から、KPIを設定しております。</p> <p>⑧桜坂高等学校では、「桜坂タイム（総合的な学習の時間、総合的な探究の時間）」を活用して、「まちなかポスタープロジェクト（1学年）」、「さくらプロジェクト（2学年）」、「市役所プロジェクト（3学年）」を教育課程に体系的に位置付け展開し、地域とのつながりを重視した学習を通して、石巻の良さを発見し、課題を見付けることで、地元へ貢献する資質や能力の育成を図っております。この学習は、シビックプライドを醸成していることから、より一層の推進・充実を図りたいと考えております。</p>
49	市外避難者の帰郷人数 (H27年度～H30年度累計)	1,260人						

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R1実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	委員質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価			
50	ふるさと納税の寄附件数	30,000件/年	25,932件	○	○	B	<p>①石巻市は震災後にNPO法人等の活動が活発になっている。NPO法人版ふるさと納税を導入して大きな寄附を募っている自治体もあるようだ。そういった取組が功を奏して更なるNPO法人等の誘致に役立ち、結果移住者の創出に寄与したという事例もあるようである。</p> <p>②特産品選定委員会はふるさと納税のラインナップを選ぶ会議だと思うが、事業者に対し出品してみないか等のアプローチをどのようにかけているのか。以前、取引先の販売チャンネルの強化としてふるさと納税を活用して販売を強化しないかと働きかけたことがあったが、商品選定をいつ、どういう基準で行っていて、どの程度の頻度で開催されているか等がよくわからなかった。</p> <p>③石巻のNPO法人を応援したい方はたくさんいるので、ふるさと納税でその想いを上手く捉えられると良いのではないかと思います。</p> <p>④選定評価委員会について、市内事業者に対し、民間金融機関との連携等により広く周知していく必要がある。</p> <p>⑤広告の充実と媒体を考える必要があるではないか。</p> <p>⑥国の返礼品への制約の中で魅力ある地場産品を生み出すのは厳しいと思うが、生産者と共同でふるさと納税用として生み出された製品に付加価値をつけず、原価で対応すれば相当なものでも返礼品として可能となるのではないかと。</p> <p>○石巻市の場合、ふるさと納税は一般財源化する形での寄附をいただいている。現状では、目的を限定した形の寄附について積極的な採用はしていない。こういった状況も踏まえた検討をお願いしたい。</p> <p>○金融機関として事業者の育成も使命があるので、ぜひそういった情報を共有いただきたい。6次化産業により生まれた新商品もふるさと納税の返礼品に設定し、その商品を告知する、事業者を育てる、活発化させるという視点でふるさと納税を活用していければ良いのではないかと思います。</p>	<p>①ふるさと納税も色々な取組があるので、研究させていただきます。</p> <p>②返礼品の商品選定については、観光協会に委託しており、事業者への声かけをお願いしております。選定委員会は年3回ほど実施し、地場産品に該当するか、金額、石巻らしさ等の点を踏まえて検討し、返礼品を選定しております。告知の方法については新聞等のメディアを活用しております。出品を希望される事業者がいれば、観光協会に問い合わせいただければ次回の選定会の際に声かけするという対応も取れるので、相談していただきたいと考えております。</p> <p>③石巻市が目指す将来像「笑顔と自然あふれる元気なまち」を実現するため、石巻市総合計画の基本目標として掲げる6項目に該当する事業に基金を充当することが要綱で定められております。NPO法人に対する基金充当について、協議を重ね検討してまいります。</p> <p>④現在、告知の方法については新聞等のメディアを活用しており、出品を希望される事業者がいれば、観光協会に問い合わせいただければ次回の選定会の際に声かけするという対応をしております。民間金融機関に選定評価委員会の開催について情報共有できるよう調整を進めてまいります。</p> <p>⑤例年、全国から約1万人が来場するふるさと納税PRイベントにブースを出展しており、露出度を高めております。今年度イベント中止に伴い、他の方法での広告宣伝を検討してまいります。</p> <p>⑥返礼品関係業務を委託している石巻観光協会及び生産者と協議のうえ、石巻を応援してくださる全国の寄附者の方々に、喜んでいただける返礼品を開発してまいります。</p>
51	定住自立圏共生ビジョンの策定進捗率	10%	—	×	×	D	<p>①実効性のあるビジョンを立案していただきたい。</p> <p>①定住自立圏を構成する2市1町は、東日本大震災により、それぞれが甚大な被害を受けました。震災からの復興まちづくりについては、各市町の復興計画に基づき復旧・復興事業を進めてきており、復興状況に差があるほか、まちの様子も協定締結した平成22年とは大きく異なっております。より実効性の高い共生ビジョンとするために、構成市町の状況把握や周辺圏域の情報整理など、ゼロから作り上げていきたいと考えております。</p>	

基本目標 4 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R1実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点工夫点	総合評価			
52	石巻市女性人材リスト登録者数 (R2年度末)	170人	139人	○	○	B	<p>①若い世代の登録を増やしてほしい。</p> <p>②女性人材については、市内にある各女性団体やNPO等を通して推薦していただくようにしてはどうか。</p> <p>③当該事業の活性化と桜坂高校生の就職率向上を連携させて、女性が職を探しやすい環境を作ってほしい。メリットの創造に努力してほしい。</p> <p>④リスト作成の実績を重んじるばかりにリスト化が先行していると感じる。各種審議会などに女性の参加を増やし意見を述べてもらうことは急務であると思うが、選任された方がその次に来るリスト化を敬遠されてしまうとなかなか引き受け手がいなくなると考える。まずは多くの女性に委員を引き受けてもらえる環境・体制づくりをしてもらいたい。</p>	<p>①若い世代をはじめ、広く女性の人材を確保するため、より一層の周知活動に努めたいと考えております。</p> <p>②本リストへの登録は本人の意思を前提としておりますが、団体をとおして情報発信を行うことは有効であると考えております。</p> <p>③本制度は市政に重要な役割を果たす審議会等の委員に女性を積極的に登用することを目的としておりますので、就職率向上や職を探しやすい環境づくりへ向け、関連する政策決定の場への女性委員の積極的な登用を促すことで、各事項の向上を図ってまいります。</p> <p>また、リストへの登録メリットについては、登録者へ男女共同参画関連セミナーの情報発信などに努めてまいります。</p> <p>④市政へ女性の意見を反映させていくことは急務であり、今後はリストからの登用促進も重要になると考えられますので、環境・体制づくりについて庁内連携強化に努めてまいります。</p> <p>また、本制度は市政に重要な役割を果たす審議会等の委員に女性を積極的に登用するためのものであり、リストに登録いただいた後に、市が委員を選任する際に参考とするものとなっております。</p> <p>従って、既に女性が委員となっている時点で本制度の目的を果たしている状態ですので、リストへの登録が負担となる場合には、本人の意思により判断していただくものと考えております。</p>
53	「育児や家事の役割」について「夫婦同様」との回答割合 (R2年度末)	70%以上	67%	○	○	B	<p>①市役所の職員からイクボス研修会を実施するという考え方は安易すぎるように思う。片親世帯に配慮しつつも保育所や幼稚園の保護者会の協力を得て実際に子育てしている人達を対象に実施すべきではないか。</p>	<p>①実際に子育てをしている父親をメイン対象とした事業は既に子育て支援課にて実施しておりますことから、当課においては子育て世代を取り巻く職場環境の意識改革を目的として、イクボス研修会を企画した背景がございます。</p> <p>男女間の固定的な性別役割意識により、育児・家事等の負担の多くを女性が担っている現状を踏まえ、男性の育児休暇・休業取得、女性活躍の推進など職場における意識改革は急務であると考えております。</p> <p>研修会についてはこれまでも実施しておりましたが、今年度は率先垂範の視点からまずは市役所職員を対象としており、さらには民間にも対象を広げ、石巻市一丸となった意識改革を推進していく予定としております。</p>
54	「女性のチカラを活かす企業」認定数	30件	20件	×	×	D	<p>①工夫点についてもっとアイデアがあるといいと思う。</p> <p>②女性が多く働く企業にピンポイントで個別に働きかけをしてみてもどうか。</p> <p>③ (No. 52同様) 当該事業の活性化と桜坂高校生の就職率向上を連携させて、女性が職を探しやすい環境を作ってほしい。メリットの創造に努力してほしい。</p> <p>④「女性のチカラを活かす企業」を育てることをしないで認証するのは難しいと考える。まずは、パワハラやセクハラ等をなくし女性が働きやすい職場環境を企業に求めていく段階ではないのか。</p>	<p>①公共調達における加点制度や企業を対象にした情報発信などについて関係課と連携して実施できるか検討してまいります。</p> <p>②企業情報を把握している関係課と連携してまいります。</p> <p>③女性の活躍やワークライフバランスに積極的な企業数が増加し、就職率向上や女性が職を探しやすい環境づくりにつながるよう、当該事業の周知を関係課と連携し、効果的なものとしてまいります。</p> <p>当該事業のメリットとしては県の公共調達における加点対象、企業のイメージアップ、宮城県中小企業融資制度での金利優遇、県知事表彰の対象、優先調達制度の対象などがございます。</p> <p>④女性が働きやすい職場環境を実現するため、イクボス研修会の対象を拡大し、各男女共同参画推進セミナー（多様な対象への意識啓発・女性の人材育成）を継続して実施してまいります。</p> <p>職場環境における意識改革や個人の意識啓発により、認証の素地を作り、事業周知についても関係課と連携し効果的に行うことで、企業へアプローチを図ってまいります。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)		R1実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応
				実績評価	改善点 工夫点	総合評価		
55	心とからだのトータルケア参加者数	500人/年	810人	◎	◎	A	—	—
56	親子教室・遊びの広場の参加親子数	20,000組/年	13,590組	○	○	B	<p>①参加親子数が減っている要因として子どもが減っていることはもちろんであるが、車を持たない家庭や、車を1台しか持たず気軽に使えない家庭が結構多いように思う。その他介護をしなければならなかったり多胎児であったりと、家から出ることが大変な家庭もあるので、アウトリーチを含めた身近な場所で交流が持てるような地域づくりをしていく必要があると感じる。</p> <p>②令和2年度は新型コロナウイルスの影響でもっと数字が下がるが、事業の重要性が来所数のみで判断されてしまうのは危険であるように感じた。</p> <p>③政策として、指導者のスキルアップ・指導者の増員を図り、子育て支援の充実により、移住を考えている人も受け入れられるよう体制を作り上げるべきと考える。</p>	<p>①各地域に子育て支援センターを設置していますが、なかなか外に出られないという声も聞いております。また、新型コロナウイルスが発生し、人に会うのが怖いというお母さんもおります。そのような中で、支援センターの支援員において電話等で積極的に連絡を取る取組を行っている支援員もおります。更に、ささえあいセンターにも子どもたちの遊び場ができたので、情報提供をしながら、お母さん達への声かけの仕方を考えながら進めていきたいと考えております。各支援センターの取組についても、地域のボランティアの方に協力していただいていることも多くあるので地域を巻き込みながらやっていけたら良いと考えております。</p> <p>②ご意見のとおり、今年度は新型コロナウイルスの影響で昨年度と比較し実績値が下がる可能性が否めません。事業の重要性につきましては、KPIとしての左記の指標だけでなく、市内で12か所存在する各子育て支援センターでの役割等も含めて判断してまいります。</p> <p>③指導者の増員については、その必要性和財政負担を総合的に判断し現時点において増員の考えはございません。また、指導者のスキルアップについては、近隣市町（東松島市及び女川町）とともに、毎年度石巻圏域子育て支援センター交流会を開催する中で研修会を実施するなど質の向上にも取り組んでおります。今後も引き続き、子育て支援施策の充実を図ってまいります。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R1実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価			
57	保育施設待機児童数	0人	12人	○	○	B	<p>①石巻市公立幼稚園・保育所・子ども園再編計画とはどういう計画で何を狙っているものなのか。 この計画による統廃合が進むと待機児童がなくなると考えて良いか。</p> <p>②保育士就職支援補助金交付制度が創設され、令和2年度が最終年度となっているが、今後はどういう方針で進めていく予定としているのか。また、補助金の実績20人分で210万円ということは、一人あたり約10万円であり、個人的には少ないと感じている。増額するような考えはないのか。</p> <p>③保育施設の待機児童は減ってきており、実際問題として、民間幼稚園等においても定員割れしてきている。少子化で子どもは減ってくると思うので、既存施設の改修や増築の必要はあるかもしれないが、新たな保育施設の建設は今後あまり必要ないと思われるため、建設費は抑えられると思う。公立幼稚園については、立派な校舎に広い園庭と施設は十分なのに、在籍数が少なく非常にもったいないと感じている。施設の統廃合等を含め既存施設の有効利用を視野に入れて、丁寧に進めてほしい。</p> <p>④潜在待機は多いと感じる。育休1年で復帰のタイミングでの入所が難しい状況を最近よく聞くがいかか。</p> <p>⑤保育士確保が困難との認識がある一方で、市の採用予定の保育士・幼稚園教諭については、年々、減少していると聞いている。保育ニーズが、しばらくはこのまま続くと思われ、全国的な「気になる子」の増加傾向もあり、当市の保育現場も同様と考えるが、幼少期に十分な対応ができれば、その後の成長に大きなプラスの影響を及ぼすことから、公立保育所・幼稚園・こども園においても十分に必要人員を確保していただきたい。 保育所の改修に時間がかかる箇所については、改修済みの公立幼稚園舎の有効活用も検討する必要があるのではないかと考える。 また、複数施設を統合することによって通いが不便になる利用者への対策や、交通手段対策はとられるのか。施設の統廃合について保育士が所属する労働組合とは協議が整っているのか。施設の建設に当たっては、移住を考えている人たちにもPRできるような、保護者や子供たちが、通わせてみたい・通いたいと望まれるような施設にしていきたい。</p> <p>○保育士就職支援補助金等により、保育士を充実させることで、子育てしやすいまちとして人口増も見込める。投資としては大きくないので、増額等について検討してもらいたい。</p>	<p>①河北地区の大谷地保育所・二俣保育所・大川保育所を統合するという事業が進んでおります。その他に鹿妻保育所の建て替えや、稲井幼稚園・井内保育所、水押・水明幼稚園・住吉幼稚園、和渕・鹿又保育所、桃生新田保育所・桃生幼稚園の統合を計画しております。 民間事業者に低年齢児を手厚くみていただき、公立の方で低年齢児以上の年齢の子をみるようにすることで待機児童の解消を図ります。市としては民間事業者も活用しながら待機児童を減らす取組を進めていきたいと考えております。</p> <p>②保育士の有効求人倍率が当該事業を開始した頃にはかなり高い数字であり、現在も2倍を超える高い数字となっております。今後についても当該補助金等は必要と考えており、検討中であります。金額については、就職した時点で10万円、継続して2年間就労して10万円、資格を取得し市内の民間保育所等に就職して10万円であり、2年間で一人最大30万円補助を受けられる制度となっております。</p> <p>③計画的な設備の整備は必要であると認識しております。今後の事業費の見込み等をたてながらきちんと進めていきたいと考えております。公立幼稚園の再編については、井内保育所・稲井幼稚園を統合して子ども園にする予定であります。水押保育所・水明保育所・住吉幼稚園は民間誘致を検討しております。</p> <p>④例年4月から8月復職予定の方については、入所調整が可能ですが、それ以降は各施設の入所枠に空きが無くなってしまいうため、0歳児の入所が難しい状況となっております。途中退所の方も少数ですがありますので、随時、入所希望の方へご案内しております。</p> <p>⑤現在、会計年度任用職員（保育士）の採用を行い、人員の不足とならないよう各施設ごとに必要な配置を行っております。配置については国の基準より多く配置し、手厚い保育となるよう対応している状況であります。今後、公立幼稚園・保育所・こども園再編計画により、公立施設の統廃合を進めていく中で、保育士の十分な人員の配置についても考慮していきたいと考えております。 改修済の公立幼稚園舎の有効活用については、保育士確保や保育所機能に必要な調理室等の設置も必要となることもあり、難しい面もあると思われまことから、再編計画により順次、整備を行ってまいります。 また、統廃合にあたっては、順次計画が進んでいく中で、対象となる保護者へ説明会を開催しながら、理解していただくよう努めてまいります。統合保育所は民営化を考えておりますが、計画が具体化していく際には、労働組合とも協議してまいりたいと考えております。廃止する公立施設に代わり、民間の保育施設を誘致する予定もあり、今後、公立施設も含め保護者や子供たちが、通わせてみたい・通いたいと望まれるような施設となるよう進めてまいります。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R1実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価			
58	放課後児童クラブ待機児童数	0人	170人	×	○	C	<p>①新型コロナウイルスの影響により放課後児童クラブのニーズが高まり待機児童が増えている中、令和2年度の改善・工夫点における処遇改善、民間の導入、作業療法士との業務連携等、とても良い取組であると思うので、これからの期待する。</p> <p>②学校の余裕教室を使用した場合の警備面等での課題は何かあるか。また親が迎えに来るまでの終了時間について課題は何かあるか。</p> <p>③特にひとり親家庭が児童クラブのお迎えに間に合わないという声が多いように感じるがいかがか。</p> <p>④公民館等で地域自治組織が児童クラブを運営するなど、地域との連携も図ってみたいかどうか。</p> <p>⑤当初学校の空き教室を活用して始められた事業だと理解していた。いつの間にか学校から追い出されたかっこうで建物が建設されてきた。空き教室が増えている一方で、建設場所に限界がきているのではないのか。学校側が空き教室ではないと言っているが、建設費(税金)を考えると受け入れ対象児童枠が拡大されてきていることなどから省庁の壁を越えて空き教室の活用を進めるべきと考える。</p> <p>⑥放課後児童クラブの支援員と学校の教員が情報を共有し、さらに充実した事業になることを期待する。発達障害や家庭の養育等で支援員の対応も大変になってきている面もあると考えます。</p>	<p>①賃金の処遇改善の必要性について認識していますが、社会保険の加入の義務化等により、扶養内で就労したいという方がいる状況もあるので、引き続き処遇改善の対応について検討していきたいと考えております。</p> <p>②施設利用については、学校の警備区画とは別となっており、別の入口から入退出を行い、その際に使用する鍵も別となっております。放課後児童クラブは午後6時までとしており、今のところ午後6時より遅い時間までの開設を希望する声が多くあがっている状況にはありません。</p> <p>③開設時間の延長については、利用者の意向も確認しながら、実施の有無について、所長(学校長)、支援員等と協議してまいります。</p> <p>④今後の運営方法については、地域自治組織も含めた民間委託等の検討を進めてまいります。</p> <p>⑤施設整備する上では、学校側とも空き教室の活用を協議しながら進めておりますので、今後も整備を行うにあたり既存施設の活用が図られるよう努めてまいります。</p> <p>⑥配慮が必要な児童の対応については、学校との情報共有が有効であり、今後も連携を図りながら対応してまいります。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R1実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価			
59	授業が分かったと感じている児童生徒の割合	90%	89.7%	○	○	B	<p>①教員指導力の向上について、各学校に臨時的任用の先生がいる。そういった先生への研修をどのように行っているのか。</p> <p>②アンケートの「分かる」という項目が基礎学力の定着とどんな相関関係にあるのかここでは判断できないので、「できた」という観点と、全国・県と比べてどうなのか検討すべきではないか。</p> <p>③調査を否定するものではないが、どこに金をかけているのか疑問である。理解度は日常行なわれている授業での試験結果に出てくると思う。事業ごとの事業費を明らかにし、視点を再検討してはどうか。</p>	<p>①講師への研修について、まずは各学校において現場の中で実践しながら学ぶ機会を与えていただくようお願いをしております。子どもたちの学力向上のための指導力に係る研修会についても昨年度は年15回開催いたしました。今年度はコロナの影響で9回の開催となりますが、この研修会への参加も促してまいります。</p> <p>②授業(5教科)の理解度について子どもにアンケートをとる際には、授業が「分かる」かどうかを問い、「できる」かどうかを問うのは技能教科の場合が通常であります。全国学力・学習状況調査の質問紙調査でも授業が「分かる」かどうかを問うており、「できた」という観点では全国・県と比較することができません。様々な分析をする上で、相対比較や経年比較をするには、同じ質問項目であることが必要であるため、「分かる」という文言にしております。</p> <p>③この施策は「子どもの未来づくり事業」、「国際理解教育推進事業」、「サイエンスラボ事業」の3つの事業から成り立っており、子どもたちの「未来を生き抜く力」の土台となる学力の向上を目指すには、教員の指導力の向上が不可欠です。その成果の検証のために調査は必要であると考えております。今後はさらに、それぞれの事業の費用対効果を検証しながら推進してまいりたいと考えております。</p>
60	学校が楽しいと感じている児童生徒の割合	85%	83.6%	○	○	B	<p>①子どもたちは石巻の何に魅力を感じているかを読み取れるデータはあるのか。「楽しい」の中には科目に対するもの、友人関係、教師との関係が含まれるが、石巻の新しいことを覚えた、魅力を発見した、体験したことも重要な楽しさの要素になると思うが、そういった点はどのようにして把握しているか。</p> <p>②子供たちが学校が楽しいと思えるようにするために教員の目線が子供たちの高さで子供に向くよう環境を整備していただきたい。事業に見合った副読本の活用も検討していただきたい。</p> <p>○新型コロナ感染が怖くて学校が不安という声をよく聞く。 ○コロナウイルスで学校へ行きたくない子ども達も多くなっていると思う。でも学校は友だちに会えるから楽しいと言っている子もいると思う。</p>	<p>①石巻の何に魅力を感じているかを把握するアンケートはとっておりません。そういった詳細なデータを今後取っていきたくと考えております。子どもたちにとっては、勉強がわかる、友達と会話するのが楽しい、先生と接するのが楽しい、の3点が学校を楽しいと感じる大きな要素であると考えています。石巻の子どもたちがどういったことを楽しいと感じているか、より詳しくアンケート等を取って照会しながら分析していきたくと考えております。「石巻の魅力の発見等に対する楽しい」というポイントについても、現在把握していないため、今後子どもたちに対する意識調査等にて捉えていければ良いと考えております。</p> <p>②子供たちが学校が楽しいと感じる要素として、一般的に「友人」「授業」「教師」「行事」「部活動」等が挙げられますが、その中で「教師との望ましい関係づくり」ができるように整備してまいりたいと考えております。副読本として、社会科の「わたしたちの石巻」、「石巻市の歴史」、防災教育における「未来へつなぐ」がすでにあり、活用しております。今後も本市の各園・学校に積極的な活用を図るよう働きかけてまいります。</p>
61	スクールカウンセラーの配置率	100%	100%	◎	◎	A	<p>①スクールカウンセラーは、保護者にも子どもにも必要な人だと感じている。</p> <p>②全ての学校にスクールカウンセラーを配置したとあるが、大規模校へは複数配置していただきたい。学校生活が楽しくなるようにするためカウンセラーの充実・スキルアップとソーシャルワーカーの増員を進めていただきたい。問題を起こしそうな子供たちに寄り添うためにも必要である。</p>	<p>①御意見のとおり、スクールカウンセラー配置事業は、児童生徒、保護者も含めて諸問題の未然防止や早期対応による解決の一助につながっていることから、今後も必要であると考えております。</p> <p>②スクールカウンセラーについては、大規模校や震災による被害が大きかった学区の学校にすでに複数配置しております。スクールカウンセラーのスキルアップの研修会は、県主催で実施しております。ソーシャルワーカーの必要人数については、学校等の状況を踏まえて検討してまいりたいと考えております。</p>